

■ 概要

○被災箇所に係る復旧整備状況

- ・平成29年度末まで

国有林治山事業：溪間工55基、山腹工33箇所、
地すべり防止工7箇所

民有林直轄治山事業：溪間工69基、山腹工70箇所

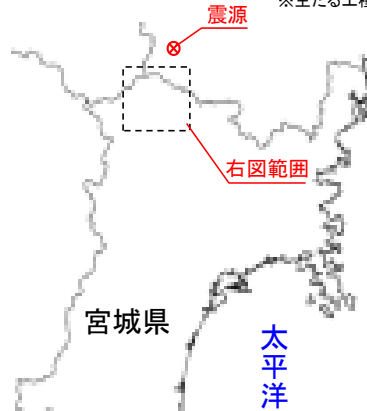
林道災害復旧事業：10路線

・平成30年度計画

国有林治山事業：溪間工 0.5基、山腹工1箇所

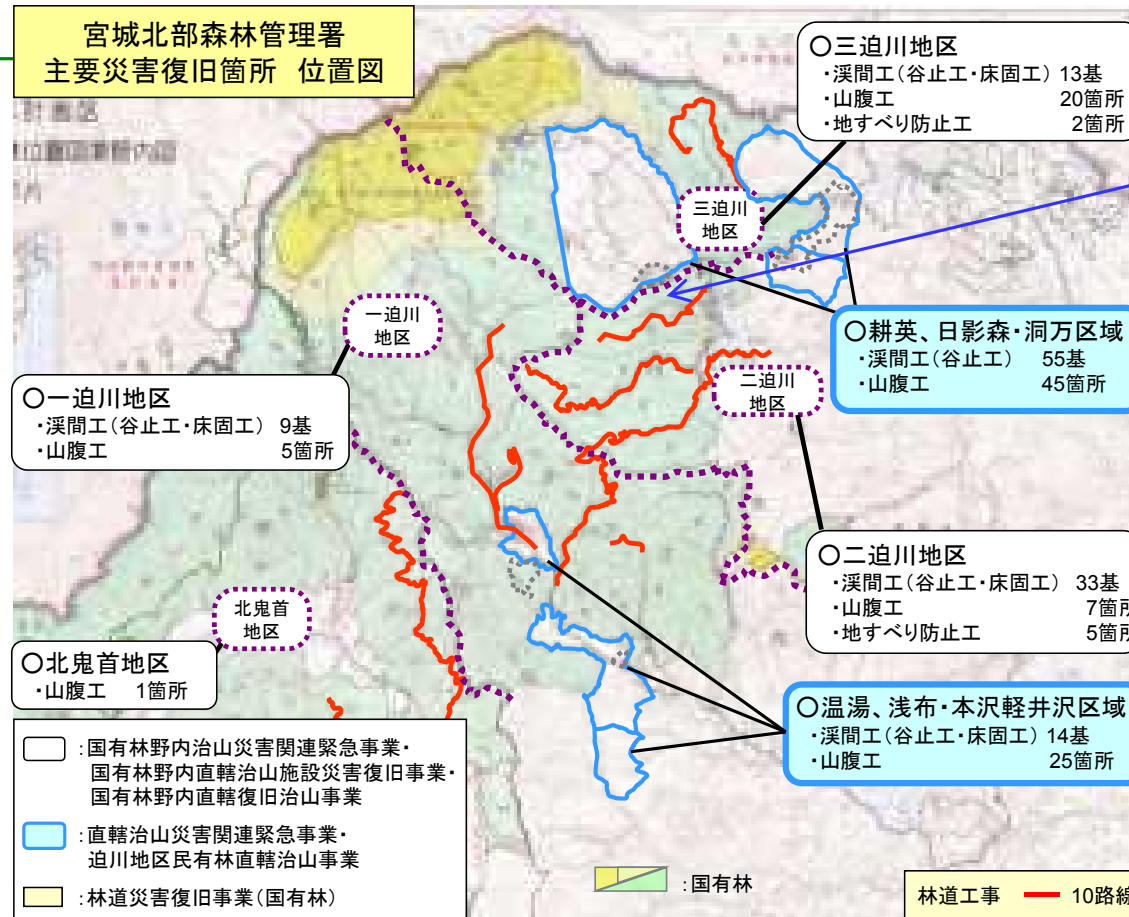
民有林直轄治山事業：溪間工 1基、山腹工2箇所

※主たる工種を記載

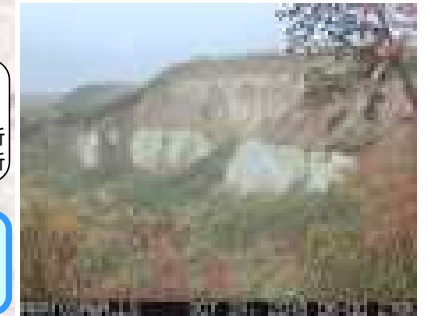


平成20年 岩手・宮城内陸地震の記録	
2008年6月14日	午前8時43分頃発生
地震の規模	M7.2
最大震度	6強(宮城県栗原市、岩手県奥州市)
震源地	岩手県内陸南部
震源の深さ	約8km
山腹崩壊箇所	1,062箇所(宮城県内、H20東北森林管理局調べ)

宮城北部森林管理署
主要災害復旧箇所 位置図



荒砥沢地すべりに監視カメラを設置しています。
東北森林管理局ホームページのトップページ左にある「岩手・宮城内陸地震荒砥沢監視カメラ」のバナーをクリックすると見ることができます。
(<http://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/index.html>)



平成30年10月31日撮影



岩手・宮城内陸地震から10年（その3）

岩手・宮城内陸地震から10年が経過した、今年9月6日に北海道で最大震度7の胆振東部地震が発生しました。被災されました皆様にお見舞いを申し上げますとともに1日も早い復興を祈っております。北海道の地震でも山が大きく崩れており、内陸地震発生当時を思い出されたことと思います。もう一度、栗原市や森林管理局等各機関が発行した内陸地震の記録などに目を通し防災意識を高めましょう。

左写真は発生当時の行者滝付近の様子と現在です。
写真①平成20年6月22日撮影、①行者滝上流の吊橋
②土石や流水が行者滝を塞ぎ、一時観光地としての存続が危ぶまれました。



くれる栗原市のゆるキャラ「ねじりほんによ」猛暑のため、みなさん中身？の調子を心配していました。



8月25日(土)「2018栗原市民まつり」が開催されました。当日は気温33度を超える猛暑にも関わらず会場は多くの人で賑わいました。

栗原市出身でゲストの狩野英孝さんの**絶大な人気**？には及ばなかったものの、当番のイベントコーナーの「樹種あてクイズ」は子供達に好評でした。

2018 栗原市民まつり

平成30年度 工事施工箇所（復旧工事を進めています）

① 湯ノ倉上流治山工事
〔溪間工（鋼製枠谷止工）〕

7月の豪雨から3週間後、再び豪雨に見舞われ、流れてきた土砂で埋もれた現地毎年、豪雨被害が発生する厳しい現場です。

7月の豪雨により土砂及び巨石が崩落し、鋼製枠の一部に被害がありました。



10月現在の様子、2度の大雨被害を乗り越え、今年度実施分の左岸側0.5基の完成が近づいてきました。

② 耕英御沢（H29）治山工事
〔溪間工（コンクリート谷止工）〕

コンクリート打設も終盤となり、積雪前の完成に向けて施工中です。

③ 洞万西沼ヶ森（H30）治山工事
〔山腹工（簡易吹付法枠工ほか）〕

写真左下：吹付工を実施中
写真下：緑化水路盤工

